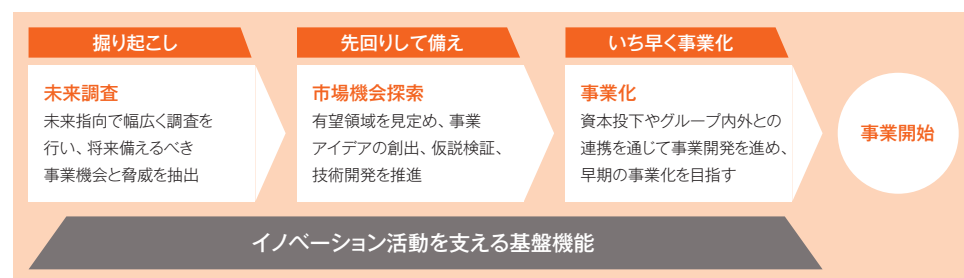


# イノベーションの推進

関西電力グループでは、将来の予測が困難なVUCA時代において、非連続な環境変化に的確に対応し、将来にわたる持続的な成長を実現するため、自律的かつ継続的にイノベーションを創出できる仕組みの整備を進めています。これにより、事業創出や既存事業の変革につながる取組みをグループ一体で推進しています。

## 未来指向型価値創造プロセスの深化

中長期の視点で政治・経済・社会・技術（PEST）をはじめとする幅広い環境変化を捉え、新たな価値の創造につなげるため、2023年7月にイノベーション推進本部を新設し、未来指向型価値創造プロセスの運用を開始しました。本プロセスでは、より長い時間軸で未来の事業機会と脅威を見極め、その示唆を注力領域の選定や投資・実証等の優先順位づけに活用することで、事業創出の確度向上につなげています。



当社グループ全体のイノベーション活動を推進し、この価値創造プロセスを最大限に機能させるための主な取組みは以下の3つです。

## 将来の機会と脅威を捉える「未来調査」

未来調査では、さまざまな将来シナリオを描いて中長期的な環境変化を捉え、当社グループにとっての潜在的な事業機会と脅威を可視化しています。短期的な収益性の判断ではなく、不確実性の高い未来に対して「どのような可能性があり得るのか」という視座を経営に持ち込むことを目的としており、幅広いテーマの調査から、既存事業の深化や新たな事業探索への接続を意識し、取組みを強化しています。

## 重点領域における探索と事業化の推進

未来調査で得られた示唆を基に、市場機会の探索と事業化に向けた検証を進めています。探索段階では、市場規模や成長性、当社グループの競争優位性などを踏まえてテーマを絞り込んでいきます。現在は特に「次世代エネルギー」と「AI・ロボティクス」の2領域を重点領域と位置づけ、将来の成長を支える新たな事業機会の創出に取り組んでいます。

また、こうした取組みを加速するため、オープンイノベーションやスタートアップ投資等を通じて、社外の技術・知見の獲得、パートナーとの連携も強化しています。

## 次世代エネルギー

エネルギー事業者としての強みを活かし、新たなエネルギー源、長期エネルギー貯蔵、二酸化炭素除去（CDR）など、中長期的にエネルギー事業のあり方を大きく変える可能性のある領域に取り組んでいます。特にフュージョンエネルギーについては、将来的なエネルギー需給構造に影響を及ぼす可能性を見据え、技術探索を通じて潜在的脅威への備えと事業機会の創出に向けた検討を進めています。また、これらの新技術は欧米を中心に萌芽していることから、2025年7月には海外探索の専任職を配置し、探索体制を強化しています。今後も、社外関係者との連携を通じて実証や事業機会の具体化に挑戦していきます。



Commonwealth Fusion Systems社出資プレスイベント

## イノベーションの推進

### AI・ロボティクス

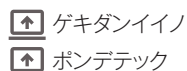
AI・ロボティクス領域は、技術革新と市場拡大が同時に進む高成長領域であり、当社グループ事業のエネルギー、情報通信、データセンターとの高いシナジーが期待されます。当社グループが保有するリソース（データ、フィールド、DX推進で培った人財・知見等）を有効活用し、将来的に発電所等の当社現場や、さらに幅広い産業の現場を支える新たな事業の創出を目指すとともに、新技術の社会実装に貢献していきます。

#### 将来の機会を捉えた新たな事業の創出

新たな領域への探索や挑戦を重ね、その成果を着実に事業化へとつなげています。（株）ボンデテックでは、使用済IT機器の再生・リユースを通じて、資源循環と障がい者の就労機会拡大に貢献しています。ゲキダンイイノ（同）では、低速自動走行モビリティ「iino」を通じて、これまでにない移動体験を提供するなど、新たな社会ニーズに応えるサービスを生み出しています。



従業員発アイデアの事業化「ゲキダンイイノ（同）」  
新たな移動体験を提供する低速自動走行モビリティサービス



#### スタートアップ投資を起点とした事業創出活動

中核事業領域を中心に、新たな技術・ビジネスに関する情報の獲得、新規事業の創出、M&Aを見据えた関係構築等の成果を目指し、（同）K4 Venturesを主体として、スタートアップ・ベンチャーキャピタルファンドへの投資を継続・拡大していきます。2026年6月末までに累計55件の投資を実行しており、今後もより高い投資規律と専門性を育みながらスタートアップ投資を継続し、将来の事業多角化やイノベーション創出につなげていきます。



#### イノベーションを支える基盤機能の強化

自律的かつ持続的にイノベーションを創出するためには、組織全体で挑戦を支える基盤機能を強化することが重要です。当社グループでは、以下の3つの観点から、イノベーションを支える環境整備に取り組んでいます。



### オープンイノベーションの推進

社内外の多様なプレーヤーとの連携を通じて新たな価値を創出するため、オープンイノベーションの取組みを推進しています。共創拠点「エナレッジ」を中心に、スタートアップ、大学、異業種企業、自治体などとの交流・協業機会を創出し、先端技術や新たなビジネスモデルに関する知見の獲得を進めています。

また、こうした外部との接点を、当社グループの事業部門やグループ会社との協業、実証プロジェクトの組成へとつなげることで、事業機会の具体化を図っています。地域課題の解決に向けた共創活動も進めており、当社グループならではの地域基盤を活かした価値創造にも取り組んでいます。

### イノベーション風土醸成・人財育成

持続的なイノベーションの創出には、挑戦する人財を継続的に発掘し、その成長を後押しすることが重要です。当社グループでは、グループ社員が幅広く参加可能なさまざまなプログラムを通じて、イノベーション人財の育成と挑戦する組織風土の醸成に取り組んでいます。

例えば、社員が新規事業アイデアを提案し、審査を経て事業化を目指す社内起業支援制度「SPARK」を運営しています。制度開始の1998年から2026年6月末までに累計900件以上の挑戦があり、10社を創業しました。現在はそのうち2社が当社グループの一員として事業を展開しています。



社内起業支援制度「SPARK」発「（株）ソコナラ」経営者との出会いを起点にした転職支援サービス



### 価値創造、事業創出につなげる知財・標準化活動の推進

イノベーションの推進により新たな価値を創造し、事業を創出するためには、創出された価値の戦略的な知的財産確保とともに、価値の優位性拡張や、新たな市場を創出・拡大し社会実装を加速させる標準化（ルール形成）がとても重要です。標準化については、標準化活動の責任者であるイノベーション推進本部長のもと、事業部門と新規事業検討の初期段階から連携し事業創出につながる活動を進めていきます。